

網走市 部活動の地域展開説明会

網走の子どもたちの未来を考える

— 部活動地域展開が目指す新しいカタチ —



自己紹介

- ・ 根室管内標津町出身
- ・ 幼稚園から中学校まで剣道少年団 高校～バスケットボール
- ・ 羅臼町内2中学校にて12年間勤務（専科：家庭科 男女顧問バスケット部顧問）
- ・ NPO法人羅臼スポーツクラブらいず クラブマネジャー（8年間）
- ・ 公益財団法人北海道スポーツ協会 総合型クラブアドバイザー（8年間）
- ・ 地域コミュニティ共創室 Be smile.
- ・ 令和5年度～ 北海道教育庁部活動の在り方検討支援アドバイザー
- ・ 令和7年度～ スポーツ庁地域スポーツクラブアドバイザー



本日のプログラム

知る

地域展開が目指す姿と
網走市の現在地を知る

講話 60分



考える

「網走なら…」と
地域をイメージして
考える

対話 20分



共に進む

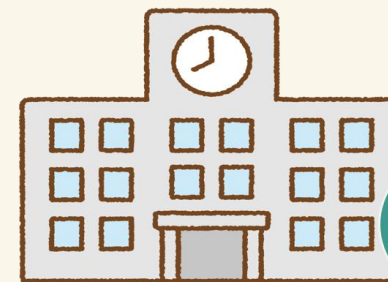
未来の活動環境を
地域と行政で
共に考え始める

まとめ 10分



皆さんはどのように考えていますか

部活動の地域展開



学 校

受け皿団体探し

これって必要？

総合型クラブ

スポーツ協会

少年団

地 域

① 少子化の進展

少子化により、学校の規模が小さくなる中、1つの学校単位ではチームスポーツなどが十分に実施できない

② 学校における働き方改革

学校における働き方改革の必要性が高まる中、学校の教師のみに頼る指導体制は維持できない

(参考1) 中学生世代の人口推計 2023年：約322万人 ⇒ 2033年：約259万人

(参考2) 中学校教師の時間外在校等時間 R4：約58時間 ⇒ 目標(R11)：約30時間

(参考3) 学校部活動の意義

- ・生徒が、身近に、気軽に、安全・安心な環境の下で、スポーツ・文化芸術活動を行う機会を公的に保障
- ・生徒の体力向上、責任感・連帯感・リーダーシップの育成、好ましい人間関係の構築などに寄与 など

- 
- 少子化が進む中でも、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保するために、地域のスポーツ・文化資源を最大限活用し、地域全体で支える仕組みの構築が必要
 - これにより、生徒の活動機会の維持にとどまらず、多種多様な体験の実現や、良質な指導等を通じた活動の質向上、地域社会の維持・活性化等につながることも期待

数字で見る網走

(3) 令和7年度 網走市立中学校の部活動部員数一覧表

(単位：人)

種 目	第一中	第二中	呼人中	第三中	第四中	第五中	合計
陸上競技	22	15	0	0	8	0	45
サッカー	0	0	0	14	0	0	14
男子バスケットボール	10	10	0	16	0	0	36
女子バスケットボール	14	5	0	21	0	0	40
軟式野球	16	8	0	0	0	6	30
女子バレーボール	17	11	0	0	0	3	31
ソフトテニス	30	0	0	0	0	0	30
卓球	0	0	0	23	27	5	55
バドミントン	0	0	9	35	0	0	44
剣道	19	0	0	21	0	0	40
弓道	0	0	0	21	0	0	21
吹奏楽	24	11	0	27	0	0	62
音楽	0	0	0	0	0	6	6
美術	0	27	0	27	0	0	54
創作	0	0	0	0	9	0	9
合 計	152	87	9	205	44	20	517
全校生徒数	209	146	13	290	53	37	748
部活動加入率	72.7%	59.6%	69.2%	70.7%	83.0%	54.1%	69.1%

「部活動」＝学校での活動

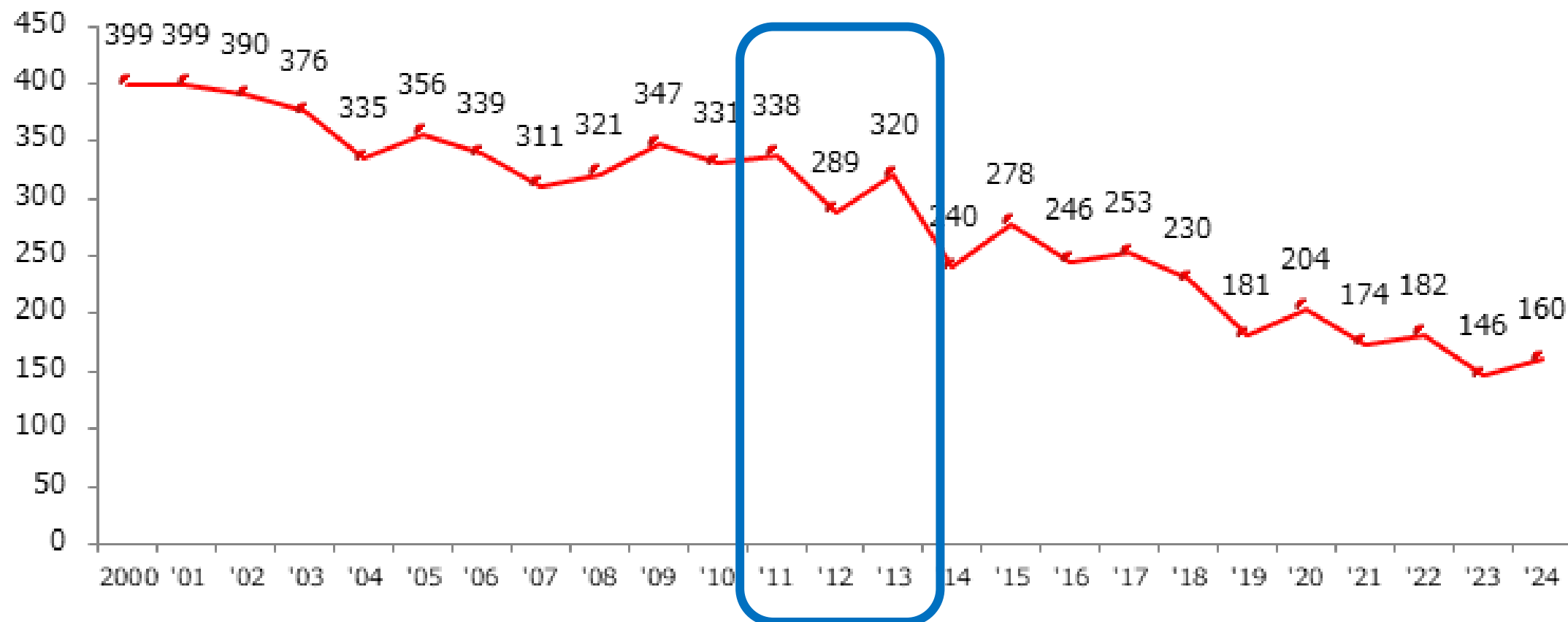


生徒数や教員数によって活動が
限られる

網走市の出生数の推移

(住民基本台帳ベース、日本人住民)

(人)



※1月1日から12月31日までの外国人を除く日本人住民の出生数。

※市区町村の場合は2025年1月1日時点の市区町村境界。

「部活動」＝先生方がすべき活動？

中学校学習指導要領（平成29年3月）

第1章 総則

第5 学校運営上の留意事項

1 教育課程の改善と学校評価、教育課程外の活動との連携等

中教審答申（H31.1 働き方改革答申）



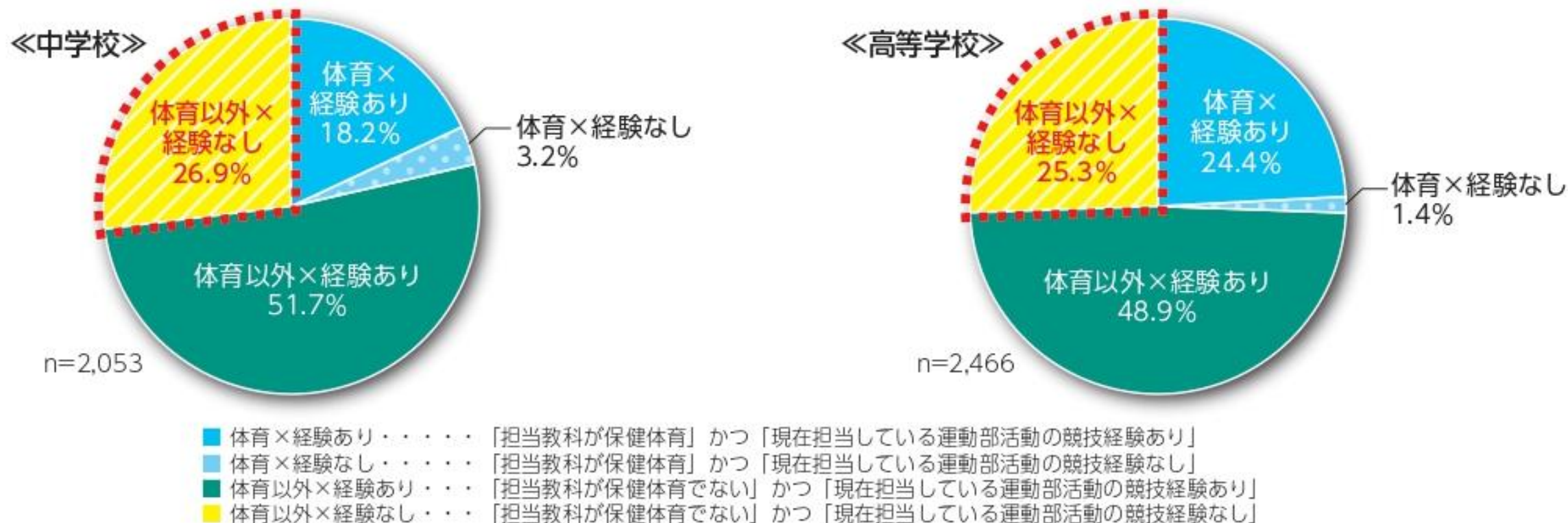
「学校の業務だが必ずしも教師が担う必要がない業務」

目指す資質・能力の育成に資するもの

であり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるように留意すること。その際、学校や地域の実態に応じ、地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行い、持続可能な運営体制が整えられるようにするものとする。

【図 1】 担当教科×現在担当している競技の過去経験の有無

指導者調査



未経験の教諭が指導する



○技能の習得、向上を目指す生徒とのミスマッチ

○部活動の準備に時間を要
= 教科指導・学級指
= 子どもたちに影響

先生が**変**だから

地域展開の本質

【これまで】

学校が中心となって
子どもの活動を支える

学校



部活動



子ども



【これから】

地域全体で
子どもの活動を支える

学校 + 地域クラブ
+ スポーツ・文化団体
+ 地域人材 + 行政



子ども

学校から「なくす」のではなく、支える主体を地域に「広げる」

① 少子化の進展

少子化により、学校の規模が小さくなる中、1つの学校単位ではチームスポーツなどが十分に実施できない

② 学校における働き方改革

学校における働き方改革の必要性が高まる中、学校の教師のみに頼る指導体制は維持できない

(参考1) 中学生世代の人口推計 2023年：約322万人 ⇒ 2033年：約259万人

(参考2) 中学校教師の時間外在校等時間 R4：約58時間 ⇒ 目標(R11)：約30時間

(参考3) 学校部活動の意義

- ・生徒が、身近に、気軽に、安全・安心な環境の下で、スポーツ・文化芸術活動を行う機会を公的に保障
- ・生徒の体力向上、責任感・連帯感・リーダーシップの育成、好ましい人間関係の構築などに寄与 など

● 少子化が進む中でも、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保するために、地域のスポーツ・文化資源を最大限活用し、地域全体で支える仕組みの構築が必要

● これにより、生徒の活動機会の維持にとどまらず、多種多様な体験の実現や、良質な指導等を通じた活動の質向上、地域社会の維持・活性化等につながることも期待

部活動と地域クラブは、同じもの？

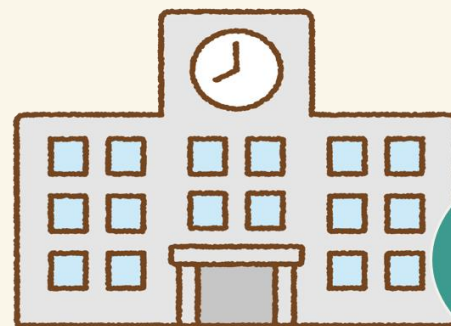
学校部活動

- 学校が設置・運営
- 学校教育とのつながり
- 教員等が中心に指導
- 学校単位の活動

地域クラブ活動

- 地域の多様な団体が運営
- 認定要件のもとで活動
- 地域人材等が指導
- 学校区を越えた活動も

「部活動をそのまま地域へ移す」だけではありません。



学 校

受け皿 体探し

総合型クラブ

スポーツ協会

少年団

地 域

〇〇地域クラブ:運営団体〇〇〇〇



実施主体



コーディネート

行政

学校

住民

関係団体

「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」の概要①（令和7年12月）

令和8年度から新たに「改革実行期間」がスタートすることを踏まえ、将来にわたる生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会の確保・充実等を図るため、**部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関して、国としての考え方を示すもの**

※公立中学校等が主な対象（「Ⅳ 学校部活動の在り方」については、国立・私立を含めた中学校及び高等学校等が対象）

Ⅰ 部活動改革の基本的な考え方・方向性

- 1 改革の理念
- 2 取組の類型・名称（地域展開・地域連携）
- 3 改革の方向性
 - （1）基本的方針
 - （2）改革期間及び取組方針（休日・平日）
 - （3）留意事項

Ⅱ 地域クラブ活動の在り方及び認定制度

- 1 地域クラブ活動の在り方
- 2 地域クラブ活動に関する認定制度 ※詳細は別冊資料①を参照
 - （1）趣旨
 - （2）想定される認定の効果
 - （3）認定制度の概要（認定要件・認定手続等）
 - （4）認定されていない地域クラブ活動の取扱い

Ⅲ 地域展開の円滑な推進に当たっての対応

- 1 推進体制の整備
 - （1）地方公共団体における体制整備
 - （2）国・都道府県・市区町村等・地域クラブ活動の運営団体・実施主体の役割分担
 - （3）地域クラブ活動の運営団体・実施主体による生徒が所属する中学校等との連携
 - （4）関係団体等・大学・民間企業との連携
- 2 各種課題への対応
 - （1）運営団体・実施主体の整備等
 - （2）指導者の確保・育成
 - （3）活動場所の確保
 - （4）活動場所への移動手段の確保
 - （5）生徒の安全・安心の確保
 - （6）障害のある生徒の活動機会の確保
- 3 生徒のニーズの反映及び地域クラブ活動への参画促進等

Ⅳ 学校部活動の在り方

- 1 適切な運営のための体制整備
 - （1）学校部活動に関する方針の策定等
 - （2）指導・運営に係る体制の構築
- 2 適切な指導及び安全・安心の確保
 - （1）暴力・暴言・ハラスメント・いじめ等の不適切行為の根絶
 - （2）合理的かつ効率的・効果的な活動の推進
 - （3）競技ごとの指導手引きの普及・活用
- 3 適切な活動時間・休養日等の設定
- 4 生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術環境の整備

Ⅴ 大会・コンクールの在り方

- 1 生徒の大会等の参加機会の確保
- 2 大会等への参加の引率や運営に係る体制の整備
 - （1）大会等への参加の引率
 - （2）大会等の運営への従事
- 3 生徒の大会等の安全確保
- 4 全国大会をはじめとする大会等の在り方

Ⅵ 関連する制度の在り方

- 1 教師等の兼職兼業
- 2 教師の人事における学校部活動の指導力の評価等
- 3 高等学校入学者選抜における学校部活動・地域クラブ活動の取扱い

別冊資料

- ①地域クラブ活動に関する認定制度（指導者登録制度を含む。）
- ②部活動の地域展開等に関する参考資料

「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」の概要②（令和7年12月）

改革の 理念等

- 急激な少子化が進む中でも、**将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実**
- 障害のある生徒や運動・文化芸術活動が苦手な生徒等を含め、**全ての生徒が希望に応じて多種多様な活動に参加できる環境を整備**
- 地域クラブ活動においては、**学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展**させつつ、地域全体で支えることによる**新たな価値を創出**

【中間評価】

改革期間

令和5年度～7年度
「改革推進期間」



令和8年度～10年度
「改革実行期間」（前期）

令和11年度～13年度
「改革実行期間」（後期）

取組方針

休日

改革実行期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す
※現時点で着手していない地方公共団体においても、**前期の間に確実に休日の地域展開等に着手**
（中山間地域や離島等で地域展開が困難な場合には、当面、部活動指導員の配置等を推進）

平日

各種課題を解決しつつ、更なる改革を推進（まずは、国において実現可能な活動の在り方等を検証）

※学校部活動をベースとした地域との連携など、**地域の実情等に応じた多様な改革を進めていくことが重要**

認定制度

競技力向上を主目的としたチーム・スクール等との区別や質の担保等のため、**国が示す要件等に基づき、市区町村等が地域クラブ活動の認定を行う仕組み**を構築

【呼称】「認定地域クラブ活動」 【想定される認定の効果】 公的支援（財政支援、学校施設の優先利用等）、大会・コンクールへの円滑な参加等

【主な要件】 活動時間（平日は1日2h程度以内、休日は1日3h程度以内） / 休養日（週2日以上、休日のみ活動の場合は土日どちらか） / 低廉な参加費 / 指導体制（日本版DBS活用を含めた不適切行為の防止徹底、指導者研修・登録等） / 安全確保 / 学校等との連携

地域展開
の円滑な
推進に当
たつての
対応

推進体制

国としての取組方針の提示・地方公共団体への支援・周知広報等 / 都道府県のリーダーシップ / 市区町村等が改革の責任主体 / 専門部署の設置・コーディネーターの配置 / 生徒が所属する中学校等との連携 / 関係団体等・大学・民間企業との連携等

各種課題
への対応

①運営団体・実施主体の体制整備等 ②指導者の確保・育成 ③活動場所の確保(学校施設の有効活用等)
④移動手段の確保 ⑤生徒の安全確保 ⑥障害のある生徒の活動機会の確保 ※6項目について具体的な取組内容等を整理

ニーズ反映
・参画促進等

生徒等のニーズの把握・反映 / 地域クラブ活動への参加促進のための情報提供等(体験会の開催、入学説明会等でのオリエンテーション、ポータルサイトなどによる一元的な情報提供等) / 生徒のクラブ運営等への参画(生徒同士の話し合いなど)

部活動の
在り方

- 適切な運営のための体制整備(部活動に係る方針策定、部活動指導員等の配置や合同部活動の実施、勤務時間管理・業務改善等)
- 適切な指導及び安全・安心の確保(暴力・暴言・ハラスメント・いじめ等の不適切行為の根絶、事案発生時の迅速な対応・再発防止、過度な練習等の防止等)
- 適切な活動時間・休養日等の設定 ●生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術環境の整備

大会等の
在り方

- 生徒の参加機会確保(地域クラブ活動等の参加促進等) ●大会等への引率や運営に係る体制整備(教師以外の関係者の参画促進等)
- 生徒の安全確保(熱中症対策等) ●大会等の在り方の見直し(多様なニーズを踏まえた大会等の開催等)

関連制度

従事を希望する教師等の兼職兼業の円滑化(中学校教師だけでなく小学校教師(体育専科等)や高校・特別支援学校の教師等を含む)、教師の人事・採用での部活動指導力の評価における留意、高校入試における取扱いなど

社会全体の「部活動観」を変える

- 1 多様な価値観、考え方に応えることのできる環境にしたい
- 2 誰もが無理なく、持続できるスポーツ・文化活動にしたい

現在の部活動という枠組みでは実現が難しい



令和8年8月
2026
平日と休日の
部活動廃止



メッセージ

既存の形に捉われず、新たな形を創る

観の大転換

学校・教員・保護者・地域

部活動の地域展開

令和8年夏、部活動廃止 様々な地域団体が運営する ” かけがわ地域クラブ ” へ

掛川市スポーツ協会

掛川市文化財団

その他の地域団体等

学校部活動の種目を中心に各種目の地域クラブを創設



Point1 現在の部活動の種目もできる限り継続できるように

Point2 部活動の枠組みにとらわれない柔軟な体制を導入
～複数地区の参加・新たな種目・ニーズに合わせた活動量～

Point3 学校会場を有効に利用して移動や送迎の負担軽減

特色あるクラブを創設



Point4 様々なクラブを教育委員会が公認して連携

Point5 新規クラブ創設をチャレンジする方を支援

燕市未来いきいき地域クラブⅡ期一覧表 1

○令和6年9月、燕市教育委員会とスポーツ協会が運営を行う、未来いきいき地域クラブのⅡ期の活動がはじまります。(活動日は4ページ参照)
 ○一覧表に載っているすべてのクラブから一つ選択して参加できます。(今参加している部活動と違う種目のクラブ、通っている学校の場所とは別の活動場所のクラブにも参加することができます。)
 ○各クラブの紹介の右下にQRコードがあるクラブは、紹介動画を見ることができます。QRコードを読み取ってください。
 ○一覧表の種目に男女の別が書かれていないクラブは、男女どちらとも参加することができます。
 ○クラブの活動場所までの移動は、参加者が行います。
 ○未来いきいき地域クラブの情報やクラブ一覧表は、燕市ホームページ(右のQRコードもしくは下のURL)から確認することができます。
<https://www.city.tsubame.niigata.jp/soshiki/kyoiku/1/125/13259.html>



吉田空手道会

主な活動場所 吉田中学校体育館
吉田武道館
活動費 なし
クラブのPR
空手を学んで強い身体と心を作りましょう。幅広い世代の会員と一緒に練習しています。



代表 山崎 行男

空手



グローブ空手鬼神会

主な活動場所 燕市体育センター
柔道場
活動費 月1000円
クラブのPR
空手の技術とキックボクシングの技術を学び、心身の鍛錬と人との絆を作る事を学んでいます。



代表 結崎 旺義

グローブ空手



SPORTS DOJO KAGAYAKI

主な活動場所 SPORTS DOJO KAGAYAKI
活動費 月1000円(予定)
クラブのPR
キックボクシングで楽しく運動します。サンドバッグやミット打ち、音楽に合わせてエクササイズや筋トレなども開催します。女の子も大歓迎です。



代表 伊達 登輝

キックボクシング



日本車いすダンス

スポーツ運営 新潟県支部
主な活動場所 吉田産業会館
活動費 なし
クラブのPR
障がいの有無や障がいの種類にかかわらず募集します。智で楽しめる芸術的なスポーツで、パラリンピックの公式種目となることを目指しています。



代表 小林 正美

車いすダンス



ビジョンパーチャルTC

主な活動場所 ビジョンよしだスタジオ
活動費 なし
クラブのPR
体力向上はもちろん誰もが気軽に楽しく汗を流せるプログラムで構成されています！周りは気にせず自分のペースでトレーニングが出来るので安心です。吉田地区はもちろん燕・分水地区からも是非参加してください。



代表 石塚 智香

フィットネス



ツバメッコ モルッカーズ

主な活動場所 吉田総合グラウンド
吉田総体会議室
活動費 月1000円
クラブのPR
木の棒を投げるKスポーツの一つ、モルックで、技量の向上の他、健康増進、多世代間の交流の輪を広げます。



代表 山崎 光典

モルック



燕秋桜jr.-sc

主な活動場所 スポーツランド燕
活動費 月500円(予定)
クラブのPR
好きこそものの上手なれ！『ソフトボールが楽しい』を感じてもらえるようなチーム作りを目指します。



代表 亀山 隆寛

ソフトボール女子



燕市未来いきいき地域クラブⅡ期一覧表 2

FanFunサッカークラブ

主な活動場所 燕東小学校
活動費 なし
クラブのPR
大会等に出場し競技力向上を目指して活動していきます。成功する楽しさや失敗する大切さを試合や練習を通じて経験していきます！



代表 山田 裕士朗

サッカー男子



FanFunフットサルクラブ

主な活動場所 燕東小学校
活動費 なし
クラブのPR
フットサル知識を学んで活動していきます。チャレンジする楽しさを大切にして成長していきます！



代表 山田 裕士朗

フットサル男子



吉田中学生ゲートボールクラブ

主な活動場所 吉田屋内ゲートボール場
活動費 年2000円
クラブのPR
ゲートボールは様々な年代や男女が一緒にプレーできます。ゲートボールの持ち合わせている多様性から思考力を大いに養うことが出来ます。中学生さん、ゲートボールをしてみませんか！



代表 竹内 未三

ゲートボール



FAST

(ファンアスリートスクールツバメ)
主な活動場所 燕中学校グラウンド
活動費 なし
クラブのPR
陸上競技を楽しみ、競技に必要な基礎体力、体力作り、スピード能力向上。他の学校の生徒同士で励まし合い、切磋琢磨できるクラブを目指しています。



代表 田巻 真哉

陸上競技



分水陸上クラブ

主な活動場所 分水中学校グラウンド
活動費 なし
クラブのPR
幅広い種目を、経験豊富なスタッフが丁寧に指導しています。楽しく活動しながら競技力の向上にも繋がります。



代表 川瀬 勇

陸上競技



ベースボールクラブBond

主な活動場所 つばくろ広場
活動費 月500円(予定)
クラブのPR
レベルに合った活動を計画していきます！一緒に野球で学び、野球を楽しむ仲間を募集しています！



代表 川本 達也

野球



つばめいきいき卓球クラブ

主な活動場所 燕生体体育館
※人数が多くなったら変更あり
活動費 人数により要相談
クラブのPR
初心者から全国大会出場まで、楽しく練習しています。一緒に卓球を楽しみましょう。



代表 田巻 賢太郎

卓球



トライ水泳クラブ

主な活動場所 ビジョンよしだ
活動費 なし
クラブのPR
楽しく仲間作り、泳げるようになりたい。4種目泳ぎたい。運動不足解消、気分転換など、それぞれの目標に向かってやっていけたらと思います。



代表 奥村 淳

水泳



飛燕柔道クラブ

主な活動場所 燕市体育センター
柔道場
活動費 なし
クラブのPR
柔道を行うための基礎体力、基礎運動、試合練習など、柔道初心者や大会経験レベルなど、個人に合ったレベルでの指導を行います。



代表 阿部 卓二

柔道



新潟県 燕市

ポイント

(31クラブ)

- 競技指導者の確保という視点ではなく、競技や種目を一切問わずに中学生にスポーツを指導したいという人(団体)を募集
- 希望者が地域クラブを運営
- 市内の中学生対象。通学区に関わらず参加可能
- 運営費として月千円+クラブ毎に活動費(就学支援世帯は免除)
- 送迎は保護者の責任

地域スポーツ活動の実施に向けた準備体制

長与町教育委員会の役割：「推進」

地域スポーツ活動の実施体制整備／生徒等のニーズ把握／検討委員会の開催／受け皿の確保・支援／財源の確保・支援／県・学校・スポーツ団体等の調整

学校の役割：「環境整備」

- ・参加生徒の受け皿との情報共有
- ・地域スポーツ活動との方針の共有
- ・教職員・生徒・保護者への地域スポーツ活動の理解促進

参加生徒

＜地域スポーツ活動＞

卓球・バスケットボール・バレーボール・
バドミントン・サッカー・陸上・軟式野球・ソ
フトテニス・硬式テニス・柔道・剣道・弓道

上記のほか、不定期に、エンジョイスportsや海洋スポ
ーツ、ユニバーサルスポーツなどのスポーツイベント

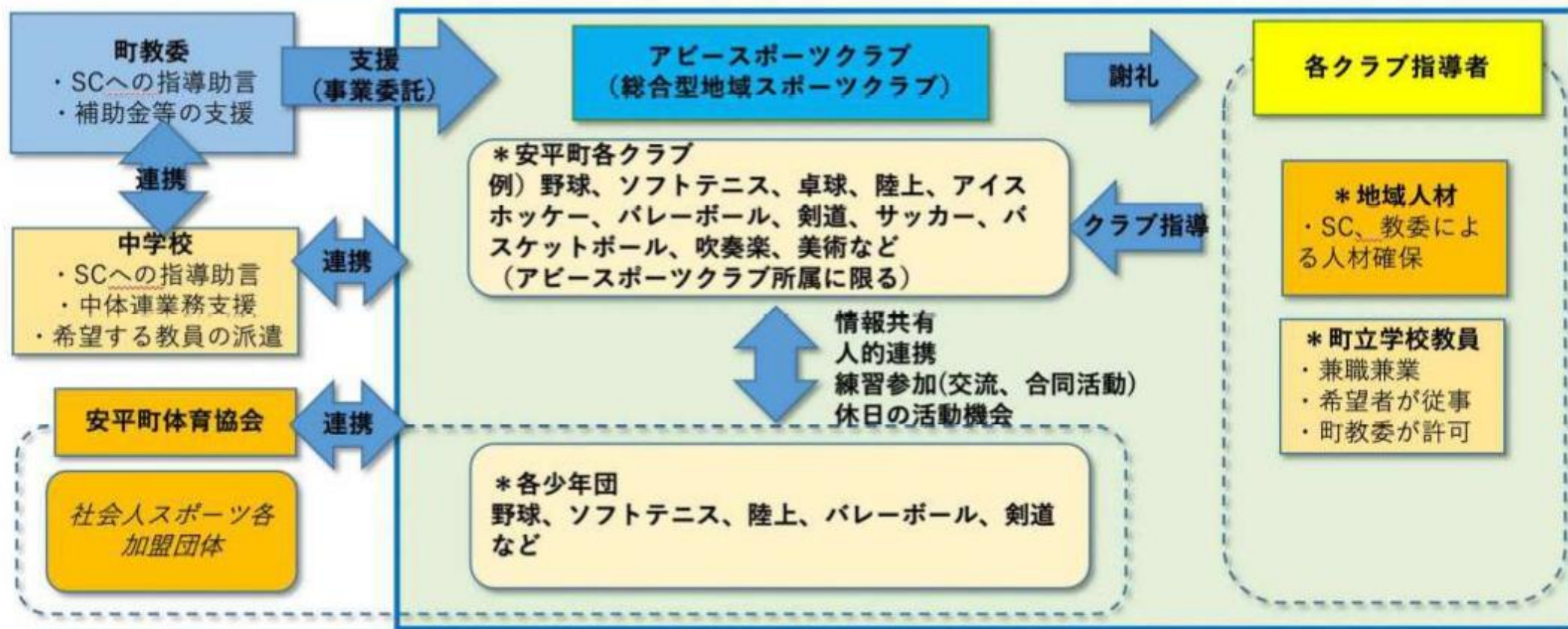
保護者の役割：「支える」

- ・会費負担（月3,000円）
- ・練習会場への送迎（必要に応じ）
- ・地域スポーツ活動の理解
- ・方針の理解と支援

受け皿（特定非営利活動法人総合型SC長与スポーツクラブ）の役割：「実施と責任」

- ◆ 参加生徒管理：募集・入会手続き／名簿作成
- ◆ 指導者管理：確保／契約／活動方針の説明／活動チェック
- ◆ 会計管理：帳簿作成／会計報告／月会費集金／謝金支払／物品購入／税金対応
- ◆ 会場管理：会場の確保／割当／周知／変更・中止連絡／会場費支払（学校以外）
- ◆ 情報管理：生徒・保護者への連絡／指導者との情報共有／学校・町教委との情報共有
- ◆ リスク管理：コンプライアンスの徹底／保険対応

部活動の地域移行に係る運営体制（案）



- ・町教委・・・部活動の業務委託（アビーSCへ）、アビーSCへの指導助言、部活動指導員の委嘱、地域人材の掘り起こし
- ・アビーSC・・・クラブ活動の運営（休日の練習、試合）、クラブ指導員の管理、地域人材の掘り起こし、少年団や各種団体との連携
- ・中学校・・・教員派遣への配慮、クラブ運営面のサポート
- ・地域人材・・・アビースポーツSCに登録し、指導員として活動
- ・各少年団・・・クラブ活動との合同（交流）練習、またはチームの一体化
- ・学校教員・・・兼職兼業の申請⇒町教委からの許可によりアビーSCに所属し指導に従事
- ・体育協会・・・アビーSCへの支援、連携（交付金、社会人チームを通じたクラブ活動支援）※アビーとの一体化も視野

令和6年7月18日 設立総会



NPO法人申請へ

☆多彩なメンバー☆



水泳指導のスキルを持つ役場職員



農家に嫁いだ元インストラクター



保健師、保育士資格を有する個人事業主



農業をしながら子育てサークルを立ち上げた女性



イベント企画はお手のもの！商工会青年部担当者



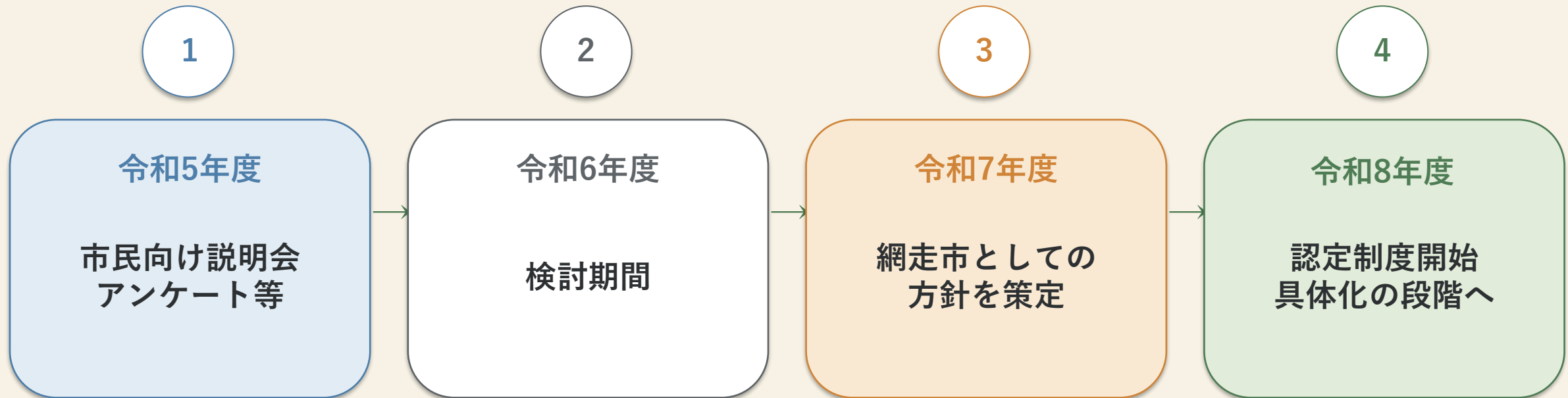
村外から嫁ぎ教育委員会で働く会計年度職員



クラブ運営に必要なスキルを持つ
人財は地域にたくさん眠っている？

地域の**人財**の協力が不可欠

網走市でのこれまでの経過



今は「方針を示す段階」から「地域と一緒に具体化する段階」へ。

網走市の今後のイメージ

現在実施している部活動種目を優先的に...

令和8年度

地域クラブ認定制度スタート

認定地域クラブ

7団体

活動する中学生

66人

子どもたちが安心して活動できるための条件があります。

- ✓ 教育的な活動
- ✓ 適切な活動時間・休養
- ✓ 過度にならない参加費
- ✓ 適切な指導
- ✓ 安全管理
- ✓ 運営体制
- ✓ 学校との連携

一定の要件を満たした団体を、網走市が認定します。

令和10年度

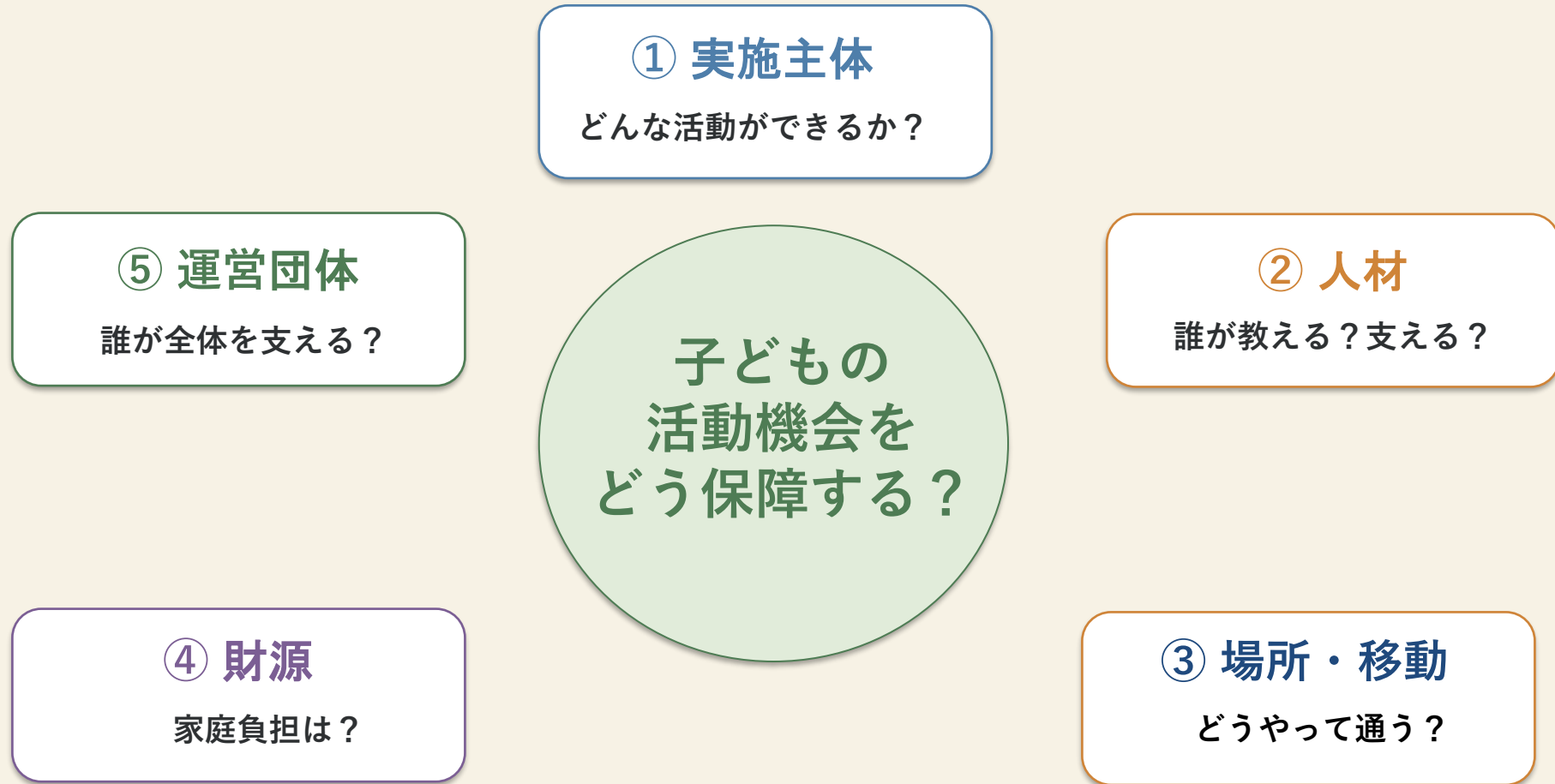
学校部活動の新規部員募集停止

令和11年度

学校部活動終了・地域での活動へ

制度は始まった。
でも、
仕組みはまだ完成していません。

これから一緒に考えたい課題



これらは「行政だけの宿題」ではなく、地域全体で考える課題です。

皆さんの声を聞かせてください！

アイデアを持っているのは、一つの組織ではありません。



学 校

行 政



子どもたちの
活動機会を
どう保障する？



地域クラブ

地域クラブ

スポーツ

文化



スポーツ・文化団体

企業・大学・高校



地域住民

保護者



ここからは、皆さんと一緒に考える時間です。

対 話 | 20分

未来の網走の子どもたちのために 私たちがサポートできること



まずは「子どもたちの未来の姿」から話してみましよう。

これから共に…

子どもたちの未来のために
是非共に新しい網走のカタチを
創っていきましょう

